

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 31日

事業所名 : 多機能型事業所なめし

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	3		1 十分に適切とは言えないが、職員同士で声を掛け合い支援を行っている
	2 職員の配置数は適切である	2	1		3 同上
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4		2 入口の構造上車椅子の利用児の場合、職員の介助が必要となっている
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2			4 来年度からPDCAサイクルに基づいた目標設定と振り返りを行えるよう研修を行い、実施できるよう努める
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			3 自己評価に基づき、改善点を検討しているが、実際の改善にまでは繋がるよう見える化を行っていく
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			1
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				6 会社内で検討中
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1			5 独自の物を使用
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5			1
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3			3 学休日等にしかできないような活動、個別支援を気がけて取り入れるよう意識して行っている
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			1
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			2 その日の担当者がデイリープログラムを表記して周知を行っている、必ず終礼を行い振り返りの機会としている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			1 同上
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			2 記録の内容について定期的に見直し、研修の実施も行っていく
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	1		5	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2		4	児発管と可能な限り担当職員が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		2	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2		2	医ケア児の受け入れ状況はない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3		3	必要に応じて書面と会議を実施している。実施の必要性は保護者、相談支援と協議している
	24	学校を卒業し、事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1		4	必要に応じて情報提供を行える体制を整えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		1	センターが実施する研修制度を利用している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4		2	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1	4	児発管、管理者を中心に参加協議会主催の研修には対象となる職員を参加させている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		1	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			6	会社で職員研修を実施し、準備を行っている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2		4	説明の仕方を研修し、丁寧でわかりやすい説明に努めている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		3	相談に適切に応じられるよう研修を行い、職員の質の向上に努めていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2		4	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		1	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			
	35	個人情報に十分注意している	5		1	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		1	

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	2	今年度は実施できなかったが、例年ご招待のためのチラシ等を配布している
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	2	定期的に職員全員でマニュアルを確認、見直す時間を作る
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		1	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	5		1	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			6	医師の指示は保護者を通じて伝達を行っている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		3	口頭、書面で周知を行っている。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2年 3月 31日

事業所名 : 多機能型事業所なめし

保護者等数(児童数):4 回収数:3

割合:75%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	1				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3					
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい の特性に応じ、事業所の設備等は、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切にな されているか	3					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか	3					
適切 な支 援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作 成されているか	3					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」の「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援 内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支援内容 が設定されているか	3					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	3					
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫さ れているか	2			1		さらなる工夫をして いく。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が あるか	1	1		1		可能な限り取り組ん でいきたい
保護 者へ の説 明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説 明がなされたか	3					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容 と、これに基づき作成された「児童発達支 援計画」を示しながら支援内容の説明がなさ れたか	3					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング*4等)が行われているか		2		1		その都度相談には 対応。支援プログラ ムの実施には職員 の育成が必要
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができているか	3					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	3					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	2			1		

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3					
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	1				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	1				
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2			1		契約時、面談時など定期的に周知説明を行う
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			1		おたよりで周知を行う
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	3					
	23	事業所の支援に満足しているか	3					

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 31日

事業所名 : 多機能型事業所なめし

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	3		1 十分に適切とは言えないが、職員同士で声を掛け合い支援を行っている
	2	職員の配置数は適切である	2	1		3 同上
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4		2 入口の構造上車椅子の利用児の場合、職員の介助が必要となっている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2			4 来年度からPDCAサイクルに基づいた目標設定と振り返りを行えるよう研修を行い、実施できるよう努める
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			3 自己評価に基づき、改善点を検討しているが、実際の改善にまでは繋がるよう見える化を行っていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			1
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				6 会社内で検討中
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1			5 独自の物を使用
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			1
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3			3 学休日等にしかできないような活動、個別支援を気がけて取り入れるよう意識して行っている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			1
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			2 その日の担当者がデイリープログラムを表記して周知を行っている、必ず終礼を行い振り返りの機会としている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			1 同上
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			2 記録の内容について定期的に見直し、研修の実施も行っていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	1		5	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2		4	児発管と可能な限り担当職員が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		2	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2		2	医ケア児の受け入れ状況はない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3		3	必要に応じて書面と会議を実施している。実施の必要性は保護者、相談支援と協議している
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1		4	必要に応じて情報提供を行える体制を整えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		1	センターが実施する研修制度を利用している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4		2	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1	4	児発管、管理者を中心に参加協議会主催の研修には対象となる職員を参加させている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		1	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			6	会社で職員研修を実施し、準備を行っている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2		4	説明の仕方を研修し、丁寧でわかりやすい説明に努めている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		3	相談に適切に応じられるよう研修を行い、職員の質の向上に努めていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2		4	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		1	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			
	35	個人情報に十分注意している	5		1	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		1	

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	2	今年度は実施できなかったが、例年ご招待のためのチラシ等を配布している
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	2	定期的に職員全員でマニュアルを確認、見直す時間を作る
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		1	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		1	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			6	医師の指示は保護者を通じて伝達を行っている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		3	口頭、書面で周知を行っている。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2年 3月 31日

事業所名 : 多機能型事業所なめし

保護者等数(児童数):15 回収数:12 割合:80%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	2			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2		OTの配置があれば	常時のセラピストの配置を検討
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	4			建物は工夫して使用
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12				取り組み方を検討中
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	1			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	7	2		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11				
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	2			苦情があった場合その都度対応 必要に応じて周知を行うこととしている
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11				
	14 個人情報に十分注意しているか	12				
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11				
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12				

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	12		非常に楽しみにしている	
	18	事業所の支援に満足しているか	11		大変満足している	